

第9回府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会 会議録（要旨）

■開催年月日 令和7年5月29日（木） 午前10時から午前11時10分まで

■開催場所 府中市役所おもや4階会議室

■出席委員等 9名（他代理3名・名簿順）

森本章倫委員、大門創委員、市野将英委員（代理坂本氏）、嶋澤俊之委員、桂健太郎委員、野田聡委員、中原幹委員、倉科大地委員（代理塚本氏）、濁澤雅委員、三浦裕介委員（代理小出氏）、山岡法次委員、野口勉委員

■事務局

田中副市長、高橋財産活用課公有地担当主幹、田代地域安全対策課長、轟都市整備部次長兼道路課長、三輪計画課交通企画担当主幹、山下部計画課交通企画担当主査、日原まちづくり拠点整備推進本部長、高島分倍河原駅周辺整備担当主幹、山田分倍河原駅周辺整備担当主査、田口分倍河原駅周辺整備担当主査、柳澤主任、薄井主任、関事務職員、岡村事務職員、磯部技術職員

■欠席委員 2名

青山琢人委員、小池毅委員

■傍聴者 2名

■議事次第

- 1 開会
- 2 会長及び副会長の選出
- 3 諮問事項
- 4 議題
施策の取組状況について
- 5 その他

■会議概要

1 開会

【事務局】

それでは定刻になりましたので、第9回府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会を始めさせていただきます。皆様、本日は大変お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。私は、まちづくり拠点整備推進本部分倍河原駅周辺整備担当主査の山田と申します。会長がまだ選出されておられませんので、会長が決まるまでの間、事務局で進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、令和7年度から新しい任期となりますので、委員委嘱についてお知らせします。皆様のお手元に委嘱状を置かせていただいております。これをもって委嘱状の伝達に代えさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。本来であれば委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいところではございますが、時間の関係もございますので、お手元の委員名簿で代えさせていただきます。また、事務局の職員につきましても、同様にお配りした席次表で代えさせていただきます。

それでは、お手元にお配りした次第に従いまして、進めさせていただきます。次第1「開会」について、府中市の田中副市長よりご挨拶申し上げます。

【副市長】

委員の皆様、おはようございます。今年の4月に前任の浅野の後任として副市長に着任いたしました田中でございます。よろしくお願いいたします。本日はお忙しいなかご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より分倍河原駅周辺地区のまちづくりにご理解とご協力をいただくとともに、この度、本協議会の委員をお引き受けくださり、改めて感謝申し上げます。私はこれまで東京都の職員として勤めてきましたが、ご縁があり本年4月より府中市に参りました。私が所管する都市整備分野の中でも、特に分倍河原駅周辺のまちづくりは、複雑な地形や地域特性による安全面など様々な課題を抱えており、難しい事業ではありますが、私自身これまで携わってきたまちづくりの経験を生かし、全力で取り組んでまいりたいと考えております。交通戦略におきましては、これまで本協議会においてご議論いただいたご意見を踏まえ、昨年12月に現状に即した指標の見直しと、より明確なスケジュールに修正を行いました。また、駅周辺の整備及び駅の改良について昨年度に基本設計を終え、今年度より実施設計に入る予定です。あわせて、駅周辺や用地取得に向けて関係権利者と協議を進めているところでございます。本市といたしましては、分倍河原駅周辺地区の都市・地域交通戦略を要として、戦略に掲げる施策の実現に向けて取り組んでまいります。委員の皆様より引き続き貴重なご意見をいただきたいと存じますので、今後も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ここで事務局からお願いがございます。議事録作成のため、本協議会の録音や記録用の写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。

2 会長及び副会長の選出

【事務局】 続きまして、次第2「会長及び副会長の選出」でございます。会長及び副会長につきましては、府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会規則第3条第1項の規定により、委員の互選により定めることになっております。委員の皆様いかがでしょうか。

【委 員】 会長につきましては、前会長である森本委員に今後も引き続きお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】 ただいま森本委員というご意見がございました。森本委員に会長にご就任いただくということで、よろしいでしょうか。

（異議なし）

【事務局】 ご異議がないようでございますので、森本委員に会長をお願いしたいと存じます。それでは、森本委員は会長席に移動をお願いいたします。それでは、以降の進行は森本会長をお願いいたします。

【会 長】 おはようございます。ただいま選出されました森本でございます。皆様のご意見を聞きながら進行を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。最初に副会長の選出でございますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【委 員】 副会長につきましても、前副会長の大門委員に引き続きお願いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【会 長】 大門委員というご意見がございました。大門委員に副会長にご就任いただくということで、よろしいでしょうか。

（異議なし）

【会 長】 ご異議がないようでございますので、大門委員に副会長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、まず本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

（事務局より出席状況の報告）

【会 長】 続きまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

【事務局】 本日の会議につきましては、5月15日号「広報ふちゅう」にて周知し、2人の傍聴希望者がおりました。以上でございます。

【会 長】 傍聴希望者がおりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（異議なし）

【会 長】 それでは、傍聴者の入室までしばらくお待ちください。

（傍聴者の入室）

3 諮問事項

- 【会 長】 それでは、次第3「諮問事項」について、事務局よりお願いします。
- 【事務局】 本日は、市長を代行し、田中副市長より森本会長に諮問書を伝達させていただきます。

(諮問書の伝達)

- 【会 長】 ただいま、田中副市長から諮問書を受け取りましたので、委員の皆様
に事務局から写しを配布します。

(諮問書の写しを配布)

- 【会 長】 改めて、事務局よりお願いします。
- 【事務局】 お手元に配布しました諮問書を読み上げさせていただきます。

(諮問書の読み上げ)

- 【事務局】 以上でございます。

4 議題

- 【会 長】 それでは、次第4「議題」に移らせていただきます。進め方としましては、まず議題について事務局から説明いただいたのち、意見をいただきたいと思います。それでは、議題の「施策の取組状況について」事務局から説明をお願いします。

(施策の取組状況について、配布資料に基づき事務局より説明)

- 【会 長】 それでは皆様のほうから質問や意見をお受けしたいと思います。
- 【委 員】 全体的に分かりやすい資料になっております。この資料に記載の予定通りに進めばよいと思いますが、今まで5年間のスケジュールのずれがございました。スケジュール通り進めていくためには、1つ1つの横ぐしではなく、もし何か1つが遅れば他も全部遅れるといった、縦との連携の考え方をもつ必要があります。いわゆるクリティカルパスで、何か1つが滞れば、他も影響を受け進まないということもあります。専門家の方に意見をいただき、クリティカルパスが何かを把握しながら、実際に縦と横を見ていく体制が必要であります。2年後に答申をするため、またスケジュールが遅れたとは言えないと思います。クリティカルパスは何かを把握しながら、全体のスケジュールが遅れないよう、または早められるような見方も持ちつつ、事業を進めていただければと思います。
- 【事務局】 分倍河原駅の事業においては、令和4年度に鉄道事業者様との基本協定を締結しており、今後のスケジュールが具体化しました。そのため、元々、令和5年度から工事を着工する予定でございましたが、前回の協議会で工事着工時期を令和10年度からに見直したところでございます。今後については、今年度から令和9年度まで実施設計を着実に進めていくとともに、用地取得についても重要となるため、関係部署との連携を図りながら進めていきたいと思っております。またクリティカルパ

スについて、資料3をご覧ください。施策番号2-2「自転車駐車場の移転・再配置」について、駅南側自転車駐車場は令和10年度から工事をするための工事ヤードとして必要になるため、令和9年度中に更地化する必要があります。そのため、自転車駐車場の移転先を早期に決定していくことが重要であると考えます。

【委員】 クリティカルパスは、表に出す必要はないですが、事業スケジュールの裏になくてはならないものであります。クリティカルパスを把握しないと、市長に対する答申でも自信をもって次のステップに進むことができないと思います。事業を進める上で、横軸と縦軸を合わせて、何が一番問題となりリスクがあるのかということを確認し、バックアップする体制を整えながらスケジュールを管理するとよいと思います。また、今後の重要な2年間で、クリティカルパスをしっかりと検討しながら、答申が出せると非常によいと考えます。

【会長】 今回、地域交通戦略という形で我々は議論をしていますが、一般的には戦略の中には戦術というものがあります。先ほど委員がおっしゃったことは、表向きには表を作って交通戦略という形でまとめていきますが、内部的には、戦略の進捗をみた上で、特に関係機関や外部との調整について迅速な対応をしていただきたいといったご意見であると思っています。色々な状況で変化をすることは想定しておくべきであり、そのような時にできる限り迅速に地元との連携をとっていただくよう私からも重ねてお願いしたいと思います。

他にご意見ございますでしょうか。

【委員】 先ほどのご説明の中で、南北自由通路における自転車の通行は、押し歩きであったと思います。参考資料3の9ページで、エスカレーターの左側に斜路付き階段がありますが、実際に斜路付き階段を使い、上まで自転車を押して上げるのは難しく、自転車の方は通行を諦めると思います。自転車利用者としては、既存のスロープを改良する整備をしてもらいたいと思います。また、エレベーターは、歩行者や車椅子の方、買い物のカートを使用する方もいるので、気が引けて使えないだろうと思います。利用する人がいなくなり、南北自由通路は自転車を通らなくなってしまうため、細かい対応の検討をお願いします。

【事務局】 以前にまちづくり協議会からも南北自由通路の斜路付き階段の横に、自動式のサイクルスロープ設置の要望をいただいておりますが、自動式サイクルスロープの設置を検証した結果、自動式となるため、途中で止まることができず、自転車と歩行者が接触する可能性もあるため、自動式にはしないと考えています。

【事務局】 補足をさせていただきますが、分倍河原駅周辺整備事業については、歩行者を中心とした駅前整備を計画しています。現在、自転車がこ線橋を通っている状況ですが、歩行者が歩きやすいまちづくりを進める上で、周辺道路の整備を行っています。参考資料3の14ページにあります南北を繋ぐ地区東側の通りである市道4-139号については、現在は道が狭く、自転車も通行しにくい状況ですが、今回の整備で両側歩道を2.5mに拡幅整備するとともに、車道には自転車ナビマークを設置し、自転車を誘導していきたいと考えています。

また、南北自由通路の現在のエレベーターは歩行者も使用しているため、自転車が使いにくい環境ですが、今回の整備ではエスカレーターも

設置するため、高齢者や台車等を使用している人など全員がエスカレーターを使えるわけではないですが、歩行者はエスカレーターを使用いただけるものと考えております。なお、既存のスロープについては、現在の形状で整備をしますと、歩く距離が長くなるとともに、自転車と歩行者の適切な勾配を考慮する必要もあります。南側駅前広場の整備は、限られた範囲の中でエスカレーターやエレベーター、交通広場の計画をしており、自転車専用スロープの設置は現状おさまらない状況でございますので、基本的には先ほどお伝えした周辺の道路整備を行い、そちらに誘導していきたいと考えております。

【委 員】 自転車は南北自由通路の通行を諦めてもらうことが実際に起きると思いますが、それでも仕方のないことであると思います。

【会 長】 中々難しい問題であり、歩行者優先にすると自転車が遠慮する場面が出てくるかもしれません。自転車の押し歩きは、従来自転車に乗っていた方からすると不便を被る可能性もあることは理解をしています。一方で、できる限り皆さんに快適に使っていただける工夫は引き続き必要であるため、関係者間で情報交換をしながら進めていただければと思います。私から一点確認があります。整備後のイメージ動画は大変分かりやすかったのですが、どのような形で情報公開をしていく予定であるのか教えてください。

【事務局】 先ほど流した整備後のイメージ動画については、3月から市のホームページで公開しております。

【会 長】 今回と同様に音声はないのですか。

【事務局】 音声はございません。

【会 長】 本来であれば、音声やナレーションを入れたり、工夫をしながら多くの方に見ていただくとイメージが湧くと思います。このプロジェクトを一日も早く進めるためには、地域住民や関係者の方にご理解いただき、早く進めるべきだという機運を高めることが重要であると思いますので、今回の動画は戦略的に使っていただきたい、また今後情報の発信については更なる工夫をお願いできればと思います。

他にご意見ございますでしょうか。

【委 員】 今回の諮問内容が進捗管理及び評価であり、進捗管理という視点で資料を拝見しました。先ほど委員からクリティカルパスというお言葉がありました。何かができるとそれに応じて何かができないという視点は非常に重要だと思います。先ほど事務局から話がありましたように、自転車駐車場が令和9年度までに更地化をしないと工事に入れないということが、ステップ1のクリティカルパスであると思います。ステップ2については、府中市と鉄道事業者が基本協定を締結し、設計を進めているため、スムーズにいくとは思いますが、用地買収や昨今の物価高騰、建設費高騰は不確実性が高いところであります。ステップ1の自転車駐車場を撤去して、工事中どちらに自転車駐車場を配置するか、工事終了後に半恒久的に自転車駐車場をどちらに配置するかは重要になってくるとは思います。もう少し自転車駐車場の情報を教えていただければと思います。参考資料3の9ページに自転車駐車場と記載はありますが、これが一つの駐輪場になるのか、あるいはそれ以外にも検討している駐輪場があるのかどうかを教えていただければと思います。

【事務局】 現在公開している基本設計の概要や整備後のイメージ動画では、具体

的なイメージを共有しておりますが、ご指摘の通り、施策の中で自転車駐車が具体的に示していない現状でございます。先ほどもお話がありましたが、工事の際に大型のクレーンで橋梁の架け替え等を行う上で、自転車駐車場は重要な場所になります。移転先については、以前から内部で検討を進め、関係権利者の方も含めて協議をさせていただいておりますが、現在決まっていない状況でございます。まずは移転先を決める必要がありますが、移転先は交通戦略における自転車ネットワークという考え方も考慮し、整備内容によっては一時的に遠い場所になるなど、様々な検討は必要ですが、最終的には交通戦略で定める自転車ネットワーク上、交通結節点として連携した場所でお示ししたいと考えております。地元からも自転車駐車場の位置はどこになるのかといったご意見もあるため、ある程度お示しできる段階になりましたら、協議会や利用者の方に早めにお知らせをしていきたいと考えております。また、参考資料3の9ページに記載の南側駅前広場の自転車駐車場については、現在も南側駅前広場内にある自転車駐車場の代替地となります。施策にあります駅南自転車駐車場は、現在駐車台数約700台であり、別の場所での移転の検討が必要でございます。

【委員】 他の施策が、昨年までの本戦略の見直しや基本協定の締結により明確になることで、自転車駐車場の不透明さが浮き出てきました。今後、進捗管理をしていく上で、本協議会の中でクリティカルパスの視点で見た際に不透明な部分があることを共有しておくことが重要であると思います。引き続き検討をしていくとのことで、見守っていききたいと思います。

【会長】 今まで利用していた人は、自転車駐車場を移設することで使いにくくなる、あるいは使わなくなるということも出てくると思いますので、移転先と需要との関係を事前に検討いただき、適切な規模の自転車駐車場を、適切な場所に移転できるのかどうかをご議論いただきたいと思います。場所が変わるのであればバスや徒歩で移動する等の話も出てくると思いますので、場合によっては情報をできる限り早めに出し、需要も移転先によって変化するというのを前提にご議論いただければと思います。

他にご意見ございますでしょうか。

【委員】 実際に分倍河原駅の混雑状況は尋常ではありません。今までは駅の外側の話が中心でしたが、駅の中についてはどの段階で議論して検討するのでしょうか。駅の中の方針があればよいのですが、ステップ2から検討を始めると遅いと思いますので、今から考えないといけないと思います。

【事務局】 駅の関係でございますが、参考資料3の12ページをご覧ください。今回の事業は、基本的にこ線橋のバリアフリー化や駅前空間の不足など、市側の道路整備が主体と考えております。また、駅周辺は高低差があり、改札前はすり鉢状で約2m下がっております。できる限り高低差をなくすために土盛りをすると駅舎が土に埋まってしまうため、鉄道事業者様にご協力いただき、駅の改良を行うことが大きな道筋となっています。

先ほど委員からご指摘がございました通り、分倍河原駅は乗換を含めると市内で1番多い乗降客数となっており、大変混雑しております。JR様の駅舎は既存のこ線橋が1つありますが、今回の駅舎の改良整備に

あわせて、既存のこ線橋は残しつつ、もう1つこ線橋を作る予定で考えており、現在1つのこ線橋で行き来している人の分散化を図ります。また、京王電鉄様は、現在地下を通り行き来しており、ホームの幅の中に階段があり、階段横が狭く危険な状況でございますが、今回の整備にあわせてエスカレーターと階段をホームとは別の場所に整備することで、ホームを広くし安全にしていくとともに、改札口も現状よりは広い形での整備を考えております。限られた敷地の中で抜本的な大改造は中々難しいところではございますが、市の道路整備にあわせて鉄道事業者様もできる範囲でご検討いただいた中で、基本設計をまとめたところでございます。

【会 長】 今のお話で、鉄道事業者様からご意見ございますでしょうか。

【委 員】 ご指摘いただきました駅の改良工事については、ステップ1で設計を終え、ステップ2で工事を行うスケジュールの中で、ステップ1でしっかりと設計の詳細を決めていきたいと思っております。先ほどお話がありましたが、実際に分倍河原駅は混雑しており、この駅改良に合わせて最善を尽くすというところでございます。例えば、現在駅には細かい階段があり、歩行者動線としてはボトルネックとなりますが、今回の整備により改札から下り方面ホームまでがフラットになり、改札の配置も適正化をしていきます。一方で、限られた土地の中で勝負をしなくてはいけないため、その中で我々はできる限りのことを行っていきたいと思っております。

【会 長】 他にご意見ございますでしょうか。

【委 員】 先ほどのお話と中身としては同じ考え方にはなりますが、既存のこ線橋を生かしつつ、別にこ線橋を整備するため、少しでも混雑緩和に繋げるように設計を進めていきたいと思っております。

【会 長】 他にご意見ありますでしょうか。それでは議題については以上とします。続きまして、次第5「その他」について、事務局から何かありますか。

3 その他

【事務局】 事務局から、本協議会の今後の開催予定についてお知らせします。次回の開催につきましては、令和8年2月頃を目途に開催したいと考えております。日時等についてはあらためてお知らせいたします。また、令和8年度についても本協議会を2回程度開催する予定で、引き続き施策の取組状況のご報告をさせていただき、実施プログラムの進行管理及び評価をしていただきたいと思いますと考えております。以上でございます。

【会 長】 ありがとうございました。皆様から今のご説明につきまして何かございますでしょうか。あるいは全体を通してご発言やご報告はございますでしょうか。それでは、本日の会議は以上でございます。以上をもちまして、府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会を閉会させていただきます。皆様ありがとうございました。

以 上